



## 実行時の注意事項

### ①コマンドライン実行の場合

No.	注意事項
1	コマンドラインからの実行は常に「通常呼び出し」となります。
2	コマンド書式はMODE110(アドレス)の後に記述して指定します。 MODE110(アドレス)コマンド パラメータ/パラメータ..... (コマンドは2文字です)
3	コマンドライン指定で実行されると、FBFはまずコマンド構文をチェックします。 この時、必須パラメータが省略されていたり、 ファイル名が8文字より多いなどの不備がある場合は「SN error」等が発生して終了します。 (ただしアドレス指定で0～65536の数値を指定すると BS error、 文字列を指定する部分で数値を指定等を行うと TM error となります)
4	構文誤りがない場合はファイル処理が実施されます。
5	実施したファイル処理で結果が失敗しても(指定したファイルが見つからない、 容量が足りない等)エラーは発生せず、 ワークエリアのリザルトコード(&H17A7)で処理結果を示します。 パラメータで文字列を指定する場合(ファイル名)、 BASICの文法同様、ダブルクォーテーションで囲んでください。 文字変数も利用可能です。
6	パラメータで数値を指定する部分にもBASIC同様、10/16進や変数・計算式での指定が可能です。
7	無効なコマンド名を指定した場合、以下の動作となります。 コマンドの文字数が2文字の場合は リザルトコード(&H17A7)が 1 になる(エラー発生せず)。 コマンドの文字数が2文字以外は、SN error が発生する。

### ②ワークエリア指定実行の場合

No.	注意事項
1	BASICでは、POKE命令を使用して指定アドレス(システムワークエリア)に情報を書き込んだあと、 引数なしのMODE110(コールアドレス) でFBFを呼び出します。
2	FBF処理後、呼び出し元に戻る必要がない場合は、JP命令でジャンプし、 処理後に呼び出し元に戻る必要がある場合は、機能番号に128を足して(最上位ビットをONにする)、 CAL命令によってFBFを呼び出します(CAL呼び出し)。
3	<b>【重要】 機械語からFBFを呼び出す場合は</b> IZレジスタが示す外部アドレスの内容を「0」に設定し、 (IZの値及びIZを示すアドレスの適当な値を設定してください)
4	<b>【重要】 CAL呼び出しする場合は、</b> IXレジスタを 0 に設定した状態でCAL命令によってFBFを実行してください。 IXレジスタが 0 以外の場合は通常呼び出し扱いとなります。
5	FBFコール時、ワークエリア&H1793に書かれた値を 「機能番号(要求機能種別)」とし、該当処理を行います。



## コマンドライン書式一覧

機能	コマンド書式					
		第1パラメータ	第2パラメータ	第3パラメータ	第4パラメータ	
ファイルの保存	MODE110 (BASE) BS	"保存ファイル名"	, 開始アドレス	, サイズ		実行開始番地(※1)
ファイルのロード	MODE110 (BASE) BL	"ロードしたいファイル名"	, ロード開始アドレス(※2)			
ファイルの削除	MODE110 (BASE) KL	"削除したいファイル名"				
ファイル名の変更	MODE110 (BASE) RN	"変更したいファイル名"	, "新しいファイル名"			
ファイルの検索	MODE110 (BASE) SF	"検索したいファイル名"				
システム情報取得	MODE110 (BASE) SI					
ジャンプテーブル作成	MODE110 (BASE) JP					
RRプログラム実行①	MODE110 (BASE) RR	"実行したいファイル名"	, パラメータ…(※3)			
RRプログラム実行②	MODE110 (BASE) RL	"実行したいファイル名"	, ロード開始アドレス	, パラメータ…(※3)		
ファイルの移動処理	MODE110 (BASE) MV	"移動したいファイル名"				
FBF切り離し	MODE110 (BASE) OF					

記号の意味	
灰色部分	必須項目
白部分	省略可能項目
" で囲んだ文字	文字列指定
" で囲んでいない文字	数値(アドレス)指定

※1: 省略した場合は「&H0000」が代入されます。

※2: 省略した場合は保存時のアドレスにロードされます。

※3: 必要パラメータは実行するプログラムによります。



# ワークエリアファンクション機能一覧

Rev.2024/02/18

	機能番号		0		1		2		3		4		5		6		機能番号			7		8		9		10		11		12		127		機能番号				
	機能名称	ファイル 番号検索 ※3	入	出	ファイル 保存	入	出	ファイル 削除	入	出	ファイル ロード アドレス指定	入	出	ファイル 名 変更	入	出	ファイル 名 検索※3	機能名称		情報 取得	入	出	ジャンプ テーブル コピー	入	出	ワーク エリア クリア	入	出	RR式 実行①	入	出	RR式 実行②	入	出	ファイル 移動		入	出
アドレス	役割	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	役割	アドレス	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	役割	アドレス	
&H1793	+0	機能番号	0		1		2		3		4		5		6		機能番号	&H1793	+0	7		8		9	0	10		11		12		127		機能番号	&H1793	+0		
&H1794	+1	ファイル番号	ファイル 番号														ファイル番号	&H1794	+1		※1				0									ファイル番号	&H1794	+1		
&H1795	+2	ファイル名						削除したいファイル名※5	ロードしたいファイル名※5	ロードしたいファイル名※5	変更したいファイル名※5	検索したいファイル名※5	検索したファイルの情報※5	ファイル名	&H1795	+2							0		実行したいファイル名※5		実行したいファイル名※5	移動したいファイル名※5						ファイル名	&H1795	+2		
&H1796	+3														&H1796	+3					0		&H1796	+3														
&H1797	+4														&H1797	+4					0		&H1797	+4														
&H1798	+5														&H1798	+5					0		&H1798	+5														
&H1799	+6														&H1799	+6					0		&H1799	+6														
&H179A	+7														&H179A	+7					0		&H179A	+7														
&H179B	+8														&H179B	+8					0		&H179B	+8														
&H179C	+9														&H179C	+9					0		&H179C	+9														
&H179D	+10	ロードアドレス								ロード先				ロードアドレス	&H179D	+10							0			ロード先							ロードアドレス	&H179D	+10			
&H179E	+11														&H179E	+11							0										&H179E	+11				
&H179F	+12	サイズ												サイズ	&H179F	+12							0										サイズ	&H179F	+12			
&H17A0	+13														&H17A0	+13							0										&H17A0	+13				
&H17A1	+14	実行アドレス												実行アドレス	&H17A1	+14							0										実行アドレス	&H17A1	+14			
&H17A2	+15														&H17A2	+15							0										&H17A2	+15				
&H17A3	+16	収納アドレス												収納アドレス	&H17A3	+16							0										収納アドレス	&H17A3	+16			
&H17A4	+17														&H17A4	+17							0										&H17A4	+17				
&H17A5	+18	ロードアドレス												ロードアドレス	&H17A5	+18							0										ロードアドレス	&H17A5	+18			
&H17A6	+19														&H17A6	+19							0										&H17A6	+19				
&H17A7	+20	リザルトコード	0/1		0/1		0/1		0/1		0/1		0/1	0/1	リザルトコード	&H17A7	+20		0		0			0		0/1		0/1		0/1		0	リザルトコード	&H17A7	+20			
&H17A8	+21	ファイル名												新しいファイル名※5			ファイル名	&H17A8	+21						0								ファイル名	&H17A8	+21			
&H17A9	+22														&H17A9	+22							0										&H17A9	+22				
&H17AA	+23														&H17AA	+23							0										&H17AA	+23				
&H17AB	+24														&H17AB	+24							0										&H17AB	+24				
&H17AC	+25														&H17AC	+25							0										&H17AC	+25				
&H17AD	+26														&H17AD	+26							0										&H17AD	+26				
&H17AE	+27														&H17AE	+27							0										&H17AE	+27				
&H17AF	+28	ワーク													&H17AF	+28							0										ワーク	&H17AF	+28			
&H17B0~	+29														ワーク	&H17B0~	+29							0					※4			ワーク	&H17B0~	+29				

【情報取得時】※1=登録されているファイルの総数 ※2=インストール前のDIREN(&H18D1,&H18D2)ポインタの値  
【ファイル移動時】※4=FDDバッファ &H17B0より200バイトを移動のワーク領域として使用します。  
【ファイル番号検索時】【ファイル名検索時】※3=通常呼び出し時に限り、以下のBASIC変数に情報が代入されます。  
FN\$:ファイル名 ST:スタートアドレス SZ:サイズ EX:実行アドレス SO:収納アドレス  
【注意1】 ファイル名指定時、8文字に満たない場合は、「0」で埋めてください。  
【注意2】 アドレスはリトルエンディアン形式で格納する必要があります。例えば&H179D,E番地に「&H70FF」の場合、&H179D=&HFF , &H179E=&H70 となります。



## 失敗要因一覧

機能番号	コマンドライン	機能概要	失敗要因
0	—	ファイル番号検索	0 または最大登録数を超えたファイル番号を指定した(不正なファイル番号の指定)。
1	BS	ファイル保存	既にファイルが255個登録されている。 ファイルを保存する為の容量が不足している。 開始アドレス+サイズが &HFFFF を超えている(不正アドレスの指定)。 ファイル名の先頭に「\$」が付いているファイルに対して上書き保存を行おうとした。 サイズが 0 で保存指定された。 (例えば &H0000番地だけの内容を保存する場合、サイズは 1 になります) ファイル名の1文字目が キャラクターコード 0 になっている(不正なファイル名の指定)
2	KL	ファイル削除	ファイルが全く登録されていない。 指定したファイル名が存在しない。 ファイル名の先頭に「\$」が付くファイルを削除しようとした。
3	BL	ファイルロード (保存時アドレスへのロード)	指定したファイルが存在しない。 開始アドレス+サイズが &HFFFF を超えている(不正アドレスの指定)。
4	BL	ファイルロード (アドレス指定ロード)	指定したファイルが存在しない。 開始アドレス+サイズが &HFFFF を超えている(不正アドレスの指定)。
5	RN	ファイル名変更	指定したファイルが存在しない。 新しいファイル名が既に存在する。
6	SF	ファイル名検索	指定したファイルが存在しない。
7	SI	情報取得	—
8	JP	ジャンプテーブルコピー	—
9	—	ワークエリアクリア	—
10	RR	RR式実行①	RR形式プログラムとして不備が確認された(チェックエラー)。
11	RL	RR式実行②	RR形式プログラムとして不備が確認された(チェックエラー)。 開始アドレス+サイズが &HFFFF を超えている(不正アドレスの指定)。
12	MV	ファイル移動	指定したファイルが存在しない。 ファイル名の先頭に「\$」が付いていないファイルを指定した。
127	OF	FBF切り離し	—

コマンドライン指定時、文法に問題がある場合は、BASICエラーが発生します。(SN ErrorやTM Error、BS Error等)  
 ワークエリア指定による実行時は、リザルトコード(&H17A7)の変化のみでBASICエラーを発生しません。



## RR形式実行結果一覧

### RR形式実行① の実行結果

保存時のロードアドレス	リザルトコード	コマンドライン時のエラー	結果
ファイル保存時の状態	0	無し	RR実行形式①を一度も行っていない状態
ファイル保存時の状態	1	SN error	コマンド構文誤りにより処理を中止しました。 (パラメータが不足している場合のエラー) 例) MODE110(BASE)RL
&HFFFF	0	無し	再配置処理は完了し、 処理は指定したファイルに渡されました。
&HFFFF	0	SN error 等	指定したファイル側で発生したエラーです。 エラー詳細についてはファイルの説明書をご覧ください。 例) MODE110(BASE)CL,A\$
&HFFFF	1	無し	再配置データ修正中に 処理は途中で終了しました。 ファイルの内容は書き換えられています。

### RR形式実行② の実行結果

保存時のロードアドレス	リザルトコード	コマンドライン時のエラー	結果
ファイル保存時の状態	0	無し	再配置処理は完了し、 処理は指定したファイルに渡されました。
ファイル保存時の状態	0	SN error 等	指定したファイル側で発生したエラーです。 エラー詳細についてはファイルの説明書をご覧ください。 例) MODE110(BASE)RL"CLR.R",&H0000
ファイル保存時の状態	1	無し	再配置データ修正中に 処理は途中で終了しました。 又はファイルが指定アドレスにロードできませんでした。
ファイル保存時の状態	1	SN error 等	コマンド構文誤りにより処理を中止しました。 (パラメータ不足、文字を指定するところに数値を指定した等) 例) MODE110(BASE)RL



## ファイル格納情報



### フリーエリアへ

アドレス下位(&H0000の方向)へ向かってメモリーを使用していく

ファイル“A”(3バイト)→ファイル“B”(2バイト)の順に登録した際のファイル格納情報です。  
最後に登録したファイル“B”を基点(&H0000)としています。

概要	アドレス	内容(H)	解説	
ファイル“B”  保存範囲: &H3456～&H3457 (2バイト)  &H3456: &HF0 &H3457: &HC3  実行アドレス &H3458	0000	+0	F0	ファイルの内容
	0001	+1	C3	
	0002	+2	42	ファイル名 (&H42 = “B”)
	0003	+3	00	
	0004	+4	00	
	0005	+5	00	
	0006	+6	00	
	0007	+7	00	
	0008	+8	00	
	0009	+9	00	
	000A	+10	56	ロードアドレス &H3456
	000B	+11	34	
	000C	+12	02	ファイルサイズ 2バイト
	000D	+13	00	
	000E	+14	58	実行アドレス &H3458
	000F	+15	34	
ファイル “A”  保存範囲: 1234H～&H1236H (3バイト)  &H1234: &H47 &H1235: &H8F &H1236: &H92  実行アドレス &H1236	0010	+0	47	ファイルの内容
	0011	+1	8F	
	0012	+2	92	ファイル名 (41H = “A”)
	0013	+3	41	
	0014	+4	00	
	0015	+5	00	
	0016	+6	00	
	0017	+7	00	
	0018	+8	00	
	0019	+9	00	
	001A	+10	00	
	001B	+11	34	ロードアドレス &H1234
	001C	+12	12	
	001D	+13	03	ファイルサイズ 3バイト
	001E	+14	00	
	001F	+15	36	実行アドレス
0020	+16	12		



### FBF本体へ

アドレス上位(&HFFFFの方向)にFBFは常駐する。

“SF”コマンドでファイル“B”を検索した時の  
のワークエリアの情報

アドレス	内容(H)	解説	
1793	+0	00	ファイル名 (42H = "B")
1794	+1	00	
1795	+2	42	
1796	+3	00	
1797	+4	00	
1798	+5	00	
1799	+6	00	
179A	+7	00	
179B	+8	00	ロードアドレス 3456H
179C	+9	00	
179D	+10	56	
179E	+11	34	ファイルサイズ 2バイト
179F	+12	02	
17A0	+13	00	
17A1	+14	58	実行アドレス 3458H
17A2	+15	34	
17A3	+16	00	このファイルの 格納先頭アドレス
17A4	+17	00	

内容+ディレクトリ情報をひとまとめにして、  
「ファイル」となります。